第３回　流山市市民参加推進委員会　議事録（概要）

１　日　　時　　令和６年８月２８日（水）１０時００分～１２時４０分

２　場　　所　　流山市役所第２庁舎３階　３０６会議室

３　出席委員　　関谷委員長、齋藤副委員長、島澤委員、竹井委員、羽田野委員、井上委員

４　欠席委員　　無

５　傍聴人　　２名

６　事務局　　片平コミュニティ課長、松田課長補佐兼コミュニティ係長、
齋藤主任主事、内藤主事

７　議題
（１）令和５年度市民参加実施事業の評価確定について
（２）答申に向けたヒアリングについて
（３）その他

８　議事内容

委員長
　ただいまから、流山市市民参加推進委員会を開催します。
　本日の出席をご報告します。ただいまのところ出席委員全員であります。よって、定足数（半数以上）に達しておりますので、会議は成立していることをご報告します。
　まず、本日の議事の進行について、事務局の説明をお願いします。

事務局
　本日は、主に令和５年度終了事業の評価シートの取りまとめについて、ご審議いただきます。
　なお、議事録作成事務の都合上、発言をする際はマイクを使用していただきますよう、御協力をお願いいたします。以上です。

委員長
　それでは、「議題（１）令和５年度終了事業の評価」について。
　事務局の説明をお願いします。

事務局
　評価シートについては、各委員から提出いただいた評価シートを基に、委員会としての評価シートのたたき台（資料１）及び集計表（資料２）を作成しました。
　①市民参加の方法の選択について（以下「①」と省略）、②市民参加の方法のスケジュールの妥当性について（以下「②」と省略）、③事業の内容や市民参加の仕

組みに対する市民等への情報提供について（以下「③」と省略）の３項目は、Ａ～Ｃの３段階評価となり、各委員の評価の平均値で判断し、事務局案を記載しました。
　総評については、各委員の総評の平均値で評価しつつ、事務局案ではＡ＋～Ｃ－の９段階評価までを記載しております。
　点数化の計算方法としては、資料２の下部に記載のとおりです。
　また、コメント欄については、基準に則り「当該対象事業の市民参加の運用について」のコメント（改善点等の指摘や意見）を抜粋して載せております。
　本日は、このたたき台をもとに、各事業について「①②③」の項目の３段階評価の確定及び「総評」の項目の９段階評価の確定について、委員会としての意見をまとめていただけたらと思います。
　なお、評価に当たりその基準については資料３、事前質問に対する回答一覧は資料４のとおりとなります。
　最後に、今回作成した評価シートは、対象事業担当課を含む全課に配信し、フィードバックいたします。また、市民向けに公表いたします。
　事務局からの説明は、以上となります。

委員長
　それでは、令和５年度終了事業の評価シートについて審議します。

事業No.１「地域公共交通活性化事業・流山ぐりーんバス運行事業」

Ｃ委員
　全ての事業について同じ考えですが、各委員がなぜ模範的であるＡ評価をつけたのか、なぜ改善が必要であるＣ評価をつけたのかの理由がポイントであるため、確認した上で議論を進めたいです。

Ｂ委員
　私はＣ評価をつけました。①の参加の方法の選択について、審議会・パブリックコメント・アンケートがあるので、規定通りの複数であるけれども、バスはやはり沿線の人に関連のある事業なので、使う可能性のある方や沿線の方にも説明会を開催したらよかったのではないかと思い、見直しの余地があるとしてＣ評価にしました。

Ｄ委員
　こういう問題は賛否両論あると思います。どこまで徹底するかは難しい問題だと思います。これだけやっていれば、市民の皆さんの大多数の意見を聞けているのではないかと思いました。

委員長
　意見を聞きながら方向性を決めていくという進め方ではないと思いました。規定に基づいて聞いていますが、もう少し実質的な進め方というところが、ほかの事業も含めてではありますが、あったのではないかと。各利用者の意見を聞き切れていないのではという厳しい見方もあります。

Ａ委員
　私は、住民説明会が頭になかったので、それを除いた状態でＡ評価としました。
　利用者は沿線の方に限られてしまい、これ以上の対応は難しいと思ったので、私はＡ評価をつけました。

委員長
　Ａ評価とＣ評価のバランスを見ると、この事業はＢ評価が妥当ではないでしょうか。他にありますでしょうか。原案通りでの評価でいかがでしょうか。

Ａ委員
　担当課は、資料２を見るのでしょうか。

事務局
　担当課へは資料２は、送信していません。その評価の理由については、コメント欄に反映していければと思います。

委員長
　この事業については、市民の意見を聞きながら作り上げるっていうふうなタイプの事業ではなくて、むしろ、市民の了解を得ながら進めていくタイプだと思います。どこまでを市民参加として実質的に意味を持っていくのかは悩ましいところではありますが、一応担当課としては可能な限り市民参加を実施して進めているように思います。形式的なところはクリアしているけれども、実質的な部分については、もう少し、充実した情報提供であったか、どこまでできたかというあたりがあり、それはコメント欄にも反映されていると思います。
　つきましては、事業No.1については、原案のとおりとしてよろしいでしょうか。

≪異議なし≫

事業 No.2「流山市における幼児教育の方向性と流山市幼児教育支援センター及び付属幼稚園の在り方について」

Ｃ委員
　自分は、①Ｂ②Ｃ③Ｃ総評Ｃです。教育委員会で結論が決まった後にパブリックコメントを求めています。パブリックコメントは、ものすごく件数が多かったが、すべて却下でした。内容を確認してみると質問が多く、それは市民に対して情報をきちんと説明していない、情報量が足りていないということから、前述の評価としました。

Ｄ委員
　入園している人に聞いても反対と言われやすいと思いました。公立と私立の幼稚園の何が違うのか、そういう点をもう少し説明する必要があったのではないでしょうか。ただ廃止だけではなく、今後の影響・対策について、もう少し詳しく説明したほうがよかったのではないかと思いました。

委員長
　自分も案と同じ評価をしました。結論ありきだからそれで良いというわけではなく、だからこそ理解を得られるように色々な情報を丁寧に提供しながら、仮に、その方向性で決まっていたとしても、そういうプロセスを確保していく必要があります。しかし、この事業について、必ずしもそういった考え方やプロセスが確保できていなかったのではないかと思われます。

副委員長
　③について、市民からの反応が結構あったにもかかわらず、それに対して反応していないと感じました。結論ありきなのは、事業としてしょうがない部分があると思いますが、であれば、それ相応の対応をしなければならないが、この事業はそれがなされていなかったと感じています。そういったところでは、総評は限りなくＣに近いと思っています。
　それをどう評価するのかというところで、非常にシステム上の限界をここで見たと感じていますが、コメントで色々と書かれてあることで、精一杯何がこの委員会として指摘されているかは明確にできたらと思います。
　今後の課題として、こういった事業に対して、明確に２行くらいで表現できたらと思います。
　評価としては、私はＣをつけました。

Ａ委員
　②のスケジュールについては、１年間かけて審議会５回を行い、メンバー構成も考えられており、妥当性があるとして、Ａ評価とし、ひとつＡ評価があったため、総評Ｂ＋と機械的につけたところがあります。
　他の委員の話を聞いていて、Ｃ＋の評価になっても納得いく部分があるので、そこはまとめてもらえたらと思います。

委員長
　総評については、Ｃ＋でもいいのではないかという意見について、いかがでしょうか。

Ｂ委員
　②のスケジュールの評価が割れていて、私はＣ評価でした。もう教育委員会で廃園は決定しましたという後に、パブリックコメントを行っていて、皆さんおっしゃるようにパブリックコメントの結果が何も反映できないということでしたので、Ｃにしました。
　総評については、２つ良くないところがあるということで、Ｃ－評価もあるなと思います。

委員長
　先に結論ありきというふうなところでも、市民参加の進め方として、手法という部分で、改善の余地があるのではないかということですね。その辺を強調すれば、Ｃ＋っていうふうにすればいいかなというところで、すぐボーダーのところと思い

ますけれども、今お三方がＣ＋にした方が良いのではないかという意見でしたが、いかがでしょうか。

≪異議なし≫

委員長
　それでは、総評については、Ｃ＋に修正します。
　コメントについては、いかがでしょうか。

副委員長
　今後の委員会としての課題として提言ですが、⑤コメントの前に、委員会としての見解を記載してはどうでしょうか。
　現状については、①Ｂ②Ｂ③Ｃで総評Ｃ＋の評価の理由について、問い合わせを受けたら対応してほしいと思います。
　このままだとＣ評価をつけてもどういう見解かわからないのではないかと思います。

Ｄ委員
　変更するなら根拠がないといけないのではないでしょうか。会議の雰囲気で変わりましたというのは、どうなのかと思います。規定通りの数字でいったほうがいいのではないでしょうか。

Ｃ委員
　②と③で改善の余地があり、そこを強調して返せばＣ＋でいいと私は思います。
　先ほどの、副委員長の、議論システムがおかしいとか、例えば結論ありきの事業を市民に諮っているということについて、それは結論ありきで市民に諮ってもいいと私は思っています。でもそのやり方ですよね。例えば、市民に聞いているのだけど、市民はどうしてですかとか反対ですとかいうふうに言っていても、それに対しては全部却下で何も応えていません。
　今のこの市民参加のシステムで、市民参加の方法を改善するとしたら、市民の多数のコメントに対して、「それぞれこういうふうに対応しました。でもこれは決定事項です。」というふうな形で落としていればいいのだけど、パブリックコメントの回答を見ると、「これは決定事項です。」みたいな回答していて、そこが悪いと思います。
　それから、そのスケジュールについても決まった後に聞くのではなくて、聞いた後に最終結論を出すというようなスケジュールにすべきじゃないですかということです。結論ありきだったとしても。それは、この委員会は言うべきことであって、単に算数で、出てきた数字で評価するのではなくて、なぜやっているかっていうと、そこを明確にクリアにする会議を今日やっているわけです。
　②と③で改善の余地があると思います。だから総評はＣ＋だと思います。

Ａ委員
　すみません。言い訳じみたことを言わせてもらうと、どうしても仕事の傍らで行っているので、皆さんと違って、そこまで深く実は掘り下げて評価をつけていない

っていうのが正直なところです。今皆さんの意見を聞いていて、なるほどそうだよね。そういうことだから自分のつけているやつは、それじゃおかしいなと思いました。
　そういう意味では、機械的に出てきた数字でポンと出るのであれば、委員会というものをやる必要はないと思います。皆さんの意見をすり合わせて、押すところは押して、引くところは引く、そういったところで評価が最後変わることは、別にあってもいいと思います。
　前回の答申の中で優良事例の紹介がありましたが、一つは資料１のところに挿入してしまうやり方もあると思うのですけども、もう一つは答申のところに入れてしまってというやり方でもいいのかなと思いました。皆さんのご意見を伺えればと思います。

事務局
　資料２については、皆さまの議論が進めやすくするよう、各委員の中央値が分かれば参考になるかなということでお示しさせていただいているものです。

Ｄ委員
　変えてはいけないとは言わないが、雰囲気で変えるのではなく、評価を下げて、点数の規則性は保つ必要があるのではないでしょうか。

委員長
　この場はまず、現在の段階で、各自で出した評価なので、一応はそれらを踏まえて、合議で最終的に決定する場になります。もし各委員の意見を聞いて、自分の評価を変えたい場合は、評価変える理由とともに、発言していただければと思います。
　それでは、総評については、条例で規定された市民参加の手法は実行されているが、一部の手法で改善が必要として、Ｃ＋に変更でよろしいでしょうか。
　コメントについては、スケジュールをもう少し早くやるべきではなかったのか、また、ある程度結論が決まっている場合でも市民に情報提供を惜しまず、いただいた意見に対して真摯に対応が必要ではないか、というところでよろしいでしょうか。

≪異議なし≫

事業 No.3「流山市生きづらさ包括支援事業実施計画（重層的支援体制整備事業実施計画）」

委員長
　意見が分かれている事業となりますが、私は暫定的な評価として、①Ｃ、②Ｂ、③Ｃ、総評Ｃ＋としました。理由としては、コメントの３つ目になりますが、地域ぐるみの包括的な相談支援体制となっているが、職員と相談支援にあたる支援者からの声を聞くに留まり、市民からの声を幅広く募ることができていないと思われます。生きづらさとは馴染みがないものではなく、誰でも感じうるところだけに、どのような支援体制なのか、もっと当事者目線からの情報提供が必要と思われます。
　例えば、ある程度専門性を持った担当部からすると、支援者側の声を中心にまとめられるということになりがちなので、この辺の声を拾い上げる手法としては、改

善の必要があるのではないかというのが私の意見です。
　それも踏まえた上で、ご意見いかがでしょうか。

副委員長
　自分はこの事業について、厳しめに考えていますが、最終的には総評はＢ－でした。先ほど厳しい意見でしたので、評価できる点を言うなら、専門家を集めているのは評価できると思います。ただ、使う側の意見が反映されていないように思います。委員や相談される側のフィルターを通して集めているといっているが、それはかなり違いがあり、問題があると思っています。
　本当はＣにしてもいいくらいのＢ－でしたので、Ｂ＋には、違和感があります。

Ｄ委員
　これは難しい問題で、私は社会福祉にかかわっていて、そういう立場からみますと、少なくとも色々な施策については、物凄く充実しているのですね。そういう意味では、委員長がおっしゃるように、どう PR していくかが課題でもあるわけです。かなり周知はしていますが、利用していない人をどう引き込むかは、課題であるとは思っています。
　ただ、確かに特定の人であるかもしれませんけれど、そういう制度自体がもうかなり進行していて、各地域で取り組みを行っていることだけは申し添えておきたいと思います。

委員長
　我々が評価するのは、市民参加評価であり、事業評価と市民参加評価の違いがあります。事業評価としては、私ももう少し高く評価できる事業だと思いますが、市民参加というところに焦点を合わせたときにどう考えるかが大切です。

Ｃ委員
　私は、スケジュール評価ではＡをつけました。よく見てみると２年がかりでやった制度で、１年目は専門家で素案を作るという段階を経て、２年目は、市民公募６名を含めた審議会をやっていて、スケジュール感は非常に良いと思いました。
　誰の声を聞いたかという点においては、当事者に話を聞くのは非常に難しい話だと思いました。そういう人たちのサポートをしている団体とか、関係者に声を聞いたみたいな話を聞いていて、間接的ではあるけれども、現場の意見を目一杯聞いていると感じました。
　最終的には①Ｂ②Ａ③Ｂで総評Ｂ評価をしました。

委員長
　かなり厳しいことを申し上げているので、もちろん全体のバランスを踏まえて最終的に結論をまとめられたらと思いますが、声を拾いあげにくいというのはその通りなのだけれども、SNS を活用するとか、いろんな形で今の時代は声を酌み取ることができるので、様々な手法を使うことはコメントにも載せていけたらと思います。

事務局
　委員長のほうからお話がありました、「SNS などを使ってもっといろんな声が上

げられるのではないか」というようなコメントに追加したい内容があれば、まとめていただければ、事務局にて反映して、後日メールで確認します。
　しっかりとした決まったものがありましたら、こういうふうに書き加えていただきたいっていうのをちょっとお伝え頂けると、事務局としても捉えやすいので、よろしくお願いします。

委員長
　それでは、この事業の①から③及び総評については、変更なしでよろしいか。

≪異議なし≫

事業No.4「流山市文化財保存活用地域計画について」

Ｂ委員
　①のＣは私ですが、文化財に関連する人などには審議会などで意見を聞いていますが、文化財がある場所の方の意見を聞いていないので、Ｃにしました。文化財になるとその周りとかを自由に開発できなかったり、自由に色々なことが変えられなかったりするので、その場所に住む方や周りの方にも影響があるので、説明があるといいなと思いました。

委員長
　評価としては、このまま①Ｂ②Ｂ③Ｂ、総評Ｂが妥当かなと思いますが、他にご意見ありますでしょうか。

Ｃ委員
　質問ですが、コメントの中に「協議会にも公募市民がいるとよい」とありますが、協議会や審議会での決まり事や公募市民の違いはあるのでしょうか。

事務局
　協議会と審議会の文言で、明確な定義はありません。

副委員長
　私は、③をＣにしました。コメントの一番下です。先ほどＢ委員のお話にもあったとおり、この事業では、著しく不足している部分があるのではないかと思っていて、総評をＣ＋にしました。この委員会の根幹にも関わるのではないかと思います。
　質問表への回答で「審議会・パブコメ以外では、地域行事等で市民の皆さんからの歴史や文化財に対しての考え方を伺っており、これらを計画に反映させております。」とありましたが、そこをさらっとされることにすごく違和感があります。
　その部分を差し引いてＣ＋評価ではないかと思います。ちゃんとやっぱり流山市としては、市民参加をやりましょうと言って、この委員会があるわけですから、こういう意識を考えてもらう意味でもＣ＋ではないかと思います。

委員長
　今おっしゃっていただいたところは、他の事業にも関わるところですので、コメ

ントにて強調できればなというふうに思います。

Ｃ委員
　質問フェーズは前回までで終わっていて、そういう表現は変えたほうがいいと思います。「～ということでしょうか。」という部分です。
　Ｃ評価で、改善すべき点があるのであれば、こういうふうにした方がいいですよとか、ここは改善してくださいと明確に書かないと、総括コメントは別ですが、個別の事業のコメントは、どこを改善すべきなのか、どういう風に改善したらよいのかをきちんと言えばいいのではないでしょうか。

副委員長
　「事業に対する市民参加のあり方を改めて検討していただけたらと思います。」と書いてあります。それが私の意見です。

委員長
　コメントの部分については、それぞれの意見があると思いますので、それぞれ表現していただけたらと思います。全体にかかわる部分については、総括の部分で触れていけたらと思います。
　それでは、この事業については、原案のとおりでよろしいでしょうか。

≪異議なし≫

事業No.5「地域防災計画策定事業」

Ｃ委員
　②のスケジュールでＣ評価をつけました。審議会の開催が１回なので、もう少し審議会をやるのであれば、時間をかけて行ってほしいという意見です。その他①、③はＢ評価です。

Ｂ委員
　②の審議会の開催が１回のみで、そのあとは書面開催であったことと、③のパブリックコメント概要版資料がすごく厚くて、前とどこが変わったのかを細かく書いてあって、初めての方がこれだけを見て意見を出すのは難しいと感じました。情報が少ないとは違うのですが、パブリックコメントの概要版の資料としては、ふさわしくないと思いました。そのため、①Ｂ②Ｃ③Ｃ、総評Ｂ－と評価しました。

委員長
　総評Ｂ－で少しＣに近いといったところですけれども、必要な情報提供の部分で改善点があるとのことで、コメントでも盛り込まれていますが、そういうことを踏まえた上で、評価できればと思います。

副委員長
　本当に地域防災計画は、市民に特に影響の大きい話なのに、審議会とパブリックコメントだけで終わっていいのだろうかと大きな疑問を持っていて、総評としては

Ｃ評価になっています。
　他の事業でやっているからという理由がもしかするとあるかもしれないが、そうであっても、地域防災計画策定事業のなかでは、改めて市民参加が重要になってくるので、Ｂ－評価では甘いと思います。

委員長
　情報提供、内容それからその伝え方等々もう少し改善して、市民が自分事として捉えられるように、そういう情報表示の在り方っていうところまで踏み込んで提示すべきではなかったかという意見がありました。そこは、例えば③あるいは総評をＢじゃなくて、もう少し下げるという案もありますが、いかがでしょうか。

Ｃ委員
　なぜＣ評価をつけたかの理由は出たので、なぜＡ評価をつけたかの理由を聞きたいです。

副委員長
　スケジュールについては、これで良いかなと思っていて、なぜかと言うと、審議会を行って、パブリックコメントをし、その後に２回目の審議会を開催しており、このスケジュールについては、問題ないと思っています。
　ここで問題なのは、市民の意見がないのではないかということで、①についてもＣ評価にしましたし、③についてもＣ評価にしました。結果、総評をＣ＋にしましたが、委員会の話を聞いているとＣ－でもいいのではないかと思いました。

委員長
　防災会議だけで集約できるものではないと思います。担当課としては、社会活動の中で、日々防災の在り方を考えたものがベースになって、日頃から地域の方や自治会等とのやり取りを重ねてきていると質問表にも回答がありました。
　そういったところも踏まえて、③をＡ評価にしていましたが、Ｂ評価に変えさせていただければと思います。
　そうすると、もう少し厳しい評価がいいのではないかという声が多い、それは、情報提供の仕方もそうですし、地域ぐるみで防災の在り方を考える必要があるのではないかということを含めて、今総評がＢ－になっていますが、Ｃ＋に変えるということでいかがでしょうか。

≪異議なし≫

事業 No.6「流山市都市公園条例及び流山市都市公園条例施行規則の改正」

Ｃ委員
　運動公園を使う人になぜ声を聴かないのかがわからないです。難しいことだと思いません。総評は、一般的なＢ評価ではなく、Ｃ評価なのかなと。自分はＣ＋よりは、Ｃ評価だと思います。
　②スケジュールにＡ評価をつけている方のお話をお聞きして、このＡがなければ、Ｃ＋よりは、Ｃが良いのではないかと思います。

副委員長
　先ほどと同じように、もうあるコンテンツの中で、どういうふうなスケジュールを組んだのかというところでは、問題なかったのではないのかなっていうので、②をＡ評価にしました。
　ここで問題なのは、市民参加の手法で、ただ、やっぱり市民参加もうちょっと考えてくださいよということで、スケジュール的に問題があるよっていう意見としては、どういうものがあるのかなっていうのをちょっとお伺いできればなと思います。

Ａ委員
　自分はオールＢをつけています。可もなく不可もなくとしか組み取れませんでした。総評点や今までの事業を見たときに、Ｃ評価になってもやむなしかなと思っています。

Ｃ委員
　この事業の市民参加は全然難しいと思っていなくて、運動公園を使う人に何で意見聞かないのかという、そこが１番のポイントなのですよ。
　審議会に市民は入っておらず、もう少し市民の声を聞いて、運動公園をどうするかっていう、そういうその条例を作るべきだというふうには、全体的に感じます。
　一般的なやり方で事業をやりましたので市民参加しましたねというようなＢ評価じゃなくて、やっぱりこれは改善の余地ありとしてＣ評価だと思います。
　Ｃがどこまでかというと、Ｃ＋よりはＣの方が良いと思います。

委員長
　ＣかＣ＋かは、改善すべき点が一部の手法なのか、複数の手法なのかが基準となります。

Ｃ委員
　①と③だと思います。

Ａ委員
　Ｃ委員の意見を聞いて、私もそうだなと思ったのは、なんで運動公園を利用する人から意見を聞かなかったのかは一つの意見として挙がると思います。

Ｂ委員
　自分も①Ｃ②Ｃ③Ｃ、総評Ｃ－評価です。
　利用者の参加の方法が、パブリックコメントしかなかったということと、あと情報提供のところで、変更する理由が、利用する方に飲食をさせるのが大事とあったのですが、実はそのあとに書いてある利用者がワンストップで申込みをできるとか、意見を言うことができるということのほうをやっぱり上位の理由にしてほしかったというようなことで、①と③がＣ評価だということで、複数の手法で改善点があるという意味では、Ｃがよいと思います。

委員長

皆さんの御意見を伺っていると、特に利用者について、手法の選択とそれから情報提供分では幅広く、意見を求めることができたのではないかと。本来は意見を出せる場というものは、もっとあってもよかったのではないかと思いますが、必ずしも十分ではなかった、その点を考えると、総評はＣ＋ではなく、Ｃが良いのではないかということで、いかがでしょうか。

≪異議なし≫

事業 No.7「第７期流山市障害福祉計画・第３期流山市障害児福祉計画」

Ｃ委員
次の事業も同様ですが、第何期という案件は、何回も繰り返していて、どうすれば市民の意見を反映できるかというやり方をわかっている事業で、何か外れたことはやっていないし、他の模範になるような事業だと感じました。そういう意味で、皆さん、変な偏りはないですよね、どちらかというとちょっと上のほうに皆さん評価を行っています。
①Ａ②Ａ③Ａ、総評Ａ評価のまま、変更なしでよいと思います。

委員長
変更なしでよろしいでしょうか。

≪異議なし≫

事業 No.8「第９期流山市高齢者支援計画」

委員長
原案について、ご意見ありますか。

≪意見なし≫

委員長
変更なしでよろしいでしょうか。

≪異議なし≫

事業 No.9「流山市都市公園条例及び流山市コミュニティプラザの設置及び管理に関する条例の改正」

Ｂ委員
少し厳しかったかもしれませんが、②③のＣは私です。
パブリックコメントの資料に文章や説明がほぼなく、表のみで、わかりにくいと感じました。利用者にとってはわかるかもしれませんが、初めての人にはわかりにくいと思います。こういう表の結果なので、こうしたいからどうですかっていうような資料が欲しかったなというふうに思いました。

審議会がすごく活発なようでたくさんの意見が出ているのですが、その内容が、資料がわかりにくい等だったので、スケジュールではないかもしれませんが、審議会の内容として、どうなのかなと思いました。
総評は皆さんの意見があると思いますが、①②③については、Ｂ評価でいいと思います。

Ａ委員
私は、①Ｂ②Ａ③Ｂ、総評Ｂ＋としました。Ｂ－の方も３名いるので、間をとるというわけではないですが、Ｂ評価でも差しつかえありません。
審議会を３か月でまとめていて、パブリックコメントを実施し、短期間スピーディーにまとめたのを評価してＡ評価にしました。
間をとって、Ｂ評価でもいいと思います。

Ｂ委員
②スケジュールをＣにしましたが、Ｂに変更していただけたらと思います。

Ｃ委員
Ｂ委員のコメントを読むと、審議会の議事録まで読まれて審査をしているのはすごいことだと思いました。

Ｄ委員
固く言うと、①Ｂ②Ｂ③Ｂときて、総評がＢ－だと担当課に対して説明がつかないのではないでしょうか。

委員長
②をＢ委員がＣからＢに変えられて、ここはＡ評価になりました。

事務局
②について、暫定の算出としては、Ａ評価となりました。①②③がＢだから総評もＢでないといけないということでは、もちろんないので、またコメントなどに皆さんの意見を含めての総評とはなります。

Ｄ委員
評価を変えた結果を明確にしておかないと、担当課に対して失礼と思います。
あえて申し上げれば、やっぱりこういうのをやって市役所の担当課も一生懸命やっているわけですので、足を引っ張るようなことはしたくないと思っています。

副委員長
足を引っ張ろうと思ってやっている人はいないと思います。むしろ、流山市としては、市民参加をやっていきましょうというのが前提にあって、その中でＣ評価がつくのかというと、Ｃ評価をつけたとしても、あなたダメですよというわけではなく、市民参加をやってくださいという度合いであって、確かにＣ－と言われたら「ああ～」となるかもしれないけれども、「ああ～」となるのではなくて、市民参加のやり方を考えてください、市民参加の手法はもっとありますよということなの

で、そういうつもりで皆さんご理解いただければと思います。

Ｄ委員
　①Ｂ②Ｂ③Ｂときて、総評がＢ－となったら、担当課はなぜだろうと思います。説明責任を果たせないと思います。
　副委員長がおっしゃることは全然反対しないです。ただ、この項目については、そういう危惧がありますねということを申し上げました。

副委員長
　他の事業でもなぜその総評になるかは、コメントでフォローをしているつもりです。
　この会議を全部録音していて、会議録にまとめることが根拠だと思います。
　我々、別に機械的に評価しているわけではなくて、①Ｂ②Ｂ③Ｂだけれども、総評Ｃだよねということもありうると思います。
　それは、ここでちゃんと議論をして、議論を重ねた結果ですので、その部分は、ご安心していただければと思います。

Ａ委員
　先ほどの防災の事業も①Ｂ②Ｂ③Ｂだけれども、総評Ｃ＋になっています。もう例として挙がっています。なぜそうなのかは、答申のところの一つの事例にするのか、評価シートに１行理由を入れるか、どちらかの方法で対応すれば、何ら問題ないと思います。

委員長
　評価基準をもとに、①から③の集積として総評を判断しているのではなく、総評はその基準として判断しています。その中身、ニュアンスについては、コメントに加えて担当課にお伝えしていくということですので、そのように理解をしていただけるといいのかなと思います。
　総評は、Ｂ－にするか、Ｂにするかはどうしますか。

Ｃ委員
　Ｂでよいのではないでしょうか。

委員長
　それでは、総評をＢ評価に変更しますが、よろしいでしょうか。

≪異議なし≫

事業No.10「ごみ収集事業・事業系ごみの出し方の見直しについて」

Ｄ委員
　①Ｂ②Ｂ③Ｂときて、総評Ｂ＋と終わるのはいいと思います。担当として上がる

のはいいが、下がるのはガクッとくると思います。皆さん色々ご意見あると思いますが、私はそう思います。

Ａ委員
　私は、オールＢをつけましたが、地域防災計画との審査基準と照らし合わせて、スケジュールがコンパクトになっていることを評価して②Ａ評価としたいです。総評もＢ＋に修正させていただきます。

委員長
　そうすると、②はＡ評価になります。他の方は、変更なしでよろしいか。

≪異議なし≫

委員長
　それでは、この事業は、①Ｂ②Ａ③Ｂ、総評Ｂ＋としてよろしいでしょうか。

≪異議なし≫

事業No.11「流山市パートナーシップ・ファミリーシップの届出に関する要綱」

Ｃ委員
　②のスケジュール感でいいのかがポイントだと思っていて、１か月で済ませる必要があったのか、それは少し問題ありとして、Ｃ評価にしました。
　ここにＡ評価をつけた人に理由を聞きたいです。

Ｄ委員
　②は、私はＡ評価をつけました。背景はわからないですが、３回やったということがあれば、それが１か月ではだめだとは言い切れないと思います。そういうことで、Ａにしました。

副委員長
　私もＡ評価にしました。やっていることに問題はないと思っています。市民参加が足りていないと思っていますが、スケジュールについては、何らかの事情があってこうなっているということを酌んで、Ａ評価にしている。

Ｃ委員
　もっと広く声をかけることや、広くリサーチすることをする期間が必要だったと思って、私はＣ評価にしました。

委員長
　実質的な部分と形式的な部分で評価をどうするかという悩ましいところです。
　制度を作ることがありきであると、市民参加が形式的になりがちになってしまう傾向があるように思います。もっと言うと、パートナーシップ制度を作ることに対して賛成の意見を求めていくという前提の事業だと感じました。反対の意見も十分

ある事業だと思う。本来であれば、そういう意見がどんな風に寄せられるかを共有しながら、合意形成を図っていくのが、本来の市民参加の在り方ではないかと思います。
　どちらかというと後押しするような意見を募ることが市民参加だと理解されがちですが、市民参加は、色んな立場の意見を聞いていくことなので、そういうことも踏まえて考えていくと、パブリックコメントや審議会ではなく、多分もっと違った手法もあったかと思います。
　賛否両論あるような事業の場合には、情報提供をしっかりしていただかないと、なかなかこれ以上が出てこない、そういう意味では、情報提供については、Ｃ評価も考えられると思います。
　評価を変えたいというご意見ありますでしょうか。

Ｄ委員
　私は、この事業に賛成です。難しい事業だと思います。

委員長
　市としては、そういう方向だと思いますが、市民参加としてどうかを我々は評価していますので、いかがでしょうか。原案通りでよろしいでしょうか。

≪異議なし≫

事業No.12「流山市成年後見制度利用促進基本計画」

Ｃ委員
　①から③までについては、一応この辺が妥当かなというふうに思いますけれども、総評についてはご意見伺いたいです。

副委員長
　コメントにも書かせていただいていて、あまり事業には触れるべきではないのですが、かなり市民参加が難しい事業だったと思いました。
　その上で、そこを加味しつつ、やはり制度への理解が、新聞やニュースでは見ますが、自分の自治体で、そういう制度が行われているのが分からない中で、こういう制度があるのですよということの周知も含めて、意見集約をしていくことには意義があるのではないかなというふうに思っています。そういう意味での市民参加の在り方はあるのではないかと思い、Ａ－にしましたが、Ｂ＋でも良いと思います。

委員長
　これについては、この制度の仕組みが市民の中に浸透していないというところもありますから、どういうふうに情報を提供していくのかっていうことは、やはり今の大きな課題です。そういう意味で情報提供については足りないのではないかとも言えますが、基本的にはＢ評価、原案のとおりになるのではないかということで、他の方はいかがでしょうか。

Ａ委員

市民の定義を考えたときに、住んでいる方だけでなく、流山市に働いている人も市民なのではないかということを考えたときに、委員の構成をみると、市民という文字が出てこないのです。例えば、社会福祉法人の方や民生委員などは出てくるので、少なくとも今流山市で働いている人、何かしら関わりのある人ということを考えると、市民が関わっていない、市民参加をしていないという風には、思えませんでした。そうであれば、市民参加の市民の定義はそうですが、住民と書いてあればもっとわかりやすいのですが、市民参加をしていないという風には思えないので、その辺りがわかりにくいと思いました。

なので、この事業が市民参加をしていないっていう議論しているわけじゃないのかもしれませんけども、私はちょっとそこら辺が、何をもって市民参加なのかが、ふと疑問に思ったので、確認をしたいです。

委員長

これは、市民参加条例上の定義があります。

市民参加という場合は、もちろん住民を含めてというところもありますし、住民以外にも、専門家や団体、事業者目線もありますし、それらを総体として見たときに、どの辺の声が酌み取れているのか、酌み取れていないのか、特定の定義というよりは、色々な角度から照らし出して、十分な声が聞けているのかが評価になると考えられます。

Ｂ委員

②をＣ評価にしたのは、パブリックコメントの後に審議会の予定がなくて、担当課だけでなく、複数の人達で意見を読んで、原案を変える計画が最初からあるかどうかの点で判断しました。そのため、総評をＣ＋にしました。

Ｄ委員

私はＡ評価にしました。情報提供については、広報ながれやまで何回も周知していて、審議会で説明も行っています。広報活動はかなり頑張っていると思います。

Ｂ委員

この事業については、制度については色々と存じ上げていますが、市民参加という面では、パブリックコメントの後に、またみんなで、流山市はどうするのかを意見交換してほしかったと思います。パブリックコメントは意見だけではなく、要望も多かったと感じていて、要望に対する対応を期待しています。Ｃ評価がついたら、がっかりするということではなく、いただいた意見を今の事業に反映できなくとも、今後反映していただきたいと思い、Ｃ＋評価をつけています。

Ｄ委員

Ｃ評価になる理由が、あるのであれば、そこはやむを得ないと思います。こういう理由でまだ足りないところがあるとこの審議会で指摘していくべきだとは思います。後見人制度については、国の決まりがあり、市ができる範囲は限られています。ほとんどないと思います。事業がどうのこうのという議論する気はないですが、出前講座をやられているなど、市からくる情報提供については、先ほど申し上げたように問題ないと思います。

Ａ委員
　審議会の会議録までは確認できていませんが、スケジュールについては、最初に示されて、パブリックコメントに修正が反映されたら一任すると決まっているなら、それ以上のことは言えないのではないかと思います。ただ、Ｂ委員のおっしゃることもわかるので、あえて一言を付け加えるのであれば、パブリックコメントし、その結果を修正する場合には、やりなさいとは言えませんから、審議会の開催等を推奨し、市民の声を吸い上げくださいね。と書くのがこの委員会の限界なのかなと思います。

委員長
　パブリックコメントの後に、フィードバックしながらどういうふうに反映していくかというプロセスは市民参加の中で非常に大事な部分でありますし、さらに市民参加を主体的に考えていくと、計画を作って終わりではなく、多くの方が知っていくこと、さらには必要な方がそれを活用していくところまで持っていくことが大切です。それをどうしていくかっていうことも担当課はしっかり考えていくべきです。

Ａ委員
　計画があるということは、実施した結果はどうだったのかと検証していくことは、先ほどの高齢者での計画でも実施しており、ＰＤＣＡサイクルとして重要だと思います。

委員長
　コメントの部分で、パブリックコメントの結果の修正の件や、周知の活性化につなげていってもらいたいというコメントは是非いれていただきたいと思います。そういったことを踏まえた上で、原案のとおりでよろしいでしょうか。

≪異議なし≫

Ａ委員
　一点だけ、コメントに付け加えるなら、オンラインもありますので、審議会等何らかの形でのフォローアップを望むと書き加えていただけたらと思います。

委員長
　事務局にて対応していただけたらと思います。

事業No.13「住民票等共同発行の終了（事務委託の廃止）」

Ａ委員
　利用したことがないですが、事業の目的はわかり、致し方ない部分があるのはわかるのだけれども、住民の視点で市民参加として捉えたときに、結果ありきで２市が辞めるといっている中で、流山市として辞めるしか無いような状況で市民参加をしてもどうなのかと思います。
　だからその前に、なくすことについてどうですかというのが、最初にあってもよ

かったのかなと思います。市民参加の手法が実施されているというふうに言っていいのかなというとちょっとそれはどうなのかなと思います。
　警笛を鳴らすという意味でも、私は①Ｃ②Ｃ③Ｃで総評Ｃにしているのですが、総評をＣ－としてもいいのではないかと思います。

委員長
　この事業については、市民参加という手法が適しているのかどうかという議論があります。廃止というのは物理的にそういう方向にどんどん向かっていかなきゃいけないという中で、それでも市民参加をやらなきゃいけないっていうので、一応今回そういったプロセス・手法をとっているということですが、市民参加ができているかどうかっていうふうな目線での評価もありますけれども、そもそも、何か無理やり市民参加っていうことを加えているのではないかという観点もあります。

Ａ委員
　対象外や例外ではないでしょうか。

Ｄ委員
　この事業は、参加した市民はどう参加すればいいのか、委員長がおっしゃる通り、根本的な問題があると思います。要するに、辞めますよというころを黙って決めたらまずいので、どうやったら市民に事業や経緯を説明できるかが大切だとは思います。

委員長
　この辺は廃止ということが、市の中でどのように進められているかということにも関わりますが、例えば市民参加っていう視点からすれば、こういうその立案というのが出てくる前段階から、利用の状況や他市の状況を含めて、市民に情報共有をしながら、こういう廃止の方向もありうるというふうな意見を市民と一緒に作っていくという在り方もありますが、今回はそのようなプロセスはとっていません。そういう視点で、今回のケースは高く評価できないということがあります。それとは別に、市の市民参加の手法を実施しているという姿勢もありますので、この辺をどっちの視点で、この審議会としての意見をまとめていくかが考える必要があります。

Ａ委員
　この件については、回答はこの評価だよとして終わりにするしかないと思います。ＣならＣ評価というふうに評価するしかないと思います。
　ただ、現実にこういうふうに市民参加推進委員会が市民参加をするになじまないようなものもあると思うので、これらについての取り決めは、今後、継続審議とするというのが限界だと思います。だからそれは今後の話としてとなります。
　例えば、そういった事案を１個１個受けて、この市民参加推進委員会にて、これは適用除外としましょうかというような審議をするっていうような考え方もあるでしょうし、その審査方法を今決めるのは難しいと思います。
　あくまで、取りあえずこの評価に関して、評価は、要はこれですよというふうにして、もう終わりにするっていうのが、今の段階での限界だと思います。

委員長
　一応今回の評価は市民参加をしなければいけないということを前提して、評価を加えてもらうこととなります。
　そして、市民参加ある手法をかみ合わせることがなじむ事業なのかどうか、その辺りは、条例上はどうなのでしょうか。

事務局
　～市民参加条例第５条について説明～

委員長
　余談ですが、軽微なものや今おっしゃったような例外的なものがあって市民参加の手続をとらなかったことによって何か過去に問題になったことはありますか。

事務局
　直接聞いたことはないですが、第５条第２項に書いてある項目は対象外となるので、最終的には担当課の判断となります。

委員長
　この事業については、変更なしでよろしいでしょうか。

Ｃ委員
　総評について、自分はＣですが、総評がＣ＋になるのかと考えていました。４名の方がＣ以下で、Ｃでもよいのではないでしょうか。
　スケジュール感はいいかなと思いましたが、いかに市民の声を聞いたかというその実施した結果を見ると、パブリックコメントは０件、アンケートでは３１件であり、３０件程度の市民の声を聞きましたとなりますが、３市が合同でパブリックコメントをやることを決めたという経緯がありますが、パブリックコメントでは市民の声をあまり聞けていないと思います。

Ａ委員
　先ほどの公園の事業では、Ｃ評価だったことを鑑みると、私もＣ評価が良いと思います。

委員長
　Ｃ評価であるならば、複数の手法で改善点があったということになります。ここでいうと、パブリックコメントもちょっと改善の余地があった、それから、アンケート調査等々でも、もう少し幅広く意見をとることができたとして、Ｃ評価にするのも一案ですが、総評をＣ評価に変更してよろしいでしょうか。

≪異議なし≫

事業 No.14 「南流山駅周辺地区まちなみづくり指針」

委員長

厳しめの意見を先に言いますが、私は全部Ｃ評価でした。
すでに大方の方針が固まっているからか、市民と一緒になって指針を作ろうとする姿勢に欠けているように思われました。意見交換会やアンケート調査を実施するには、この指針がどのような意味を持つのか、いかなる内容になるのか、丁寧な情報発信が必要であり、その理解が深まっていく中で意見を聞くプロセスの取り方が必要と思われます。
指針ですから、もっと幅広く情報提供として、市民がイメージを持ちやすい情報提供が必要だったのではないかと思いました。

副委員長
まちなみづくりは、市民に影響をもたらすものであるにも関わらず、市民参加が著しく欠けていると思います。市民参加のツールはたくさんあり、なぜやらなかったのか、どうしてこの結果になったか疑問です。私は最終的にＣ＋にし、総評については、Ｂ判定に収まらないのではないかと感じています。

Ａ委員
私は、オールＢです。可もなく不可もなくというところです。審議会があるわけでもないので、いわゆる南流山周辺の住民の方々の意見が主役だろうというふうに考えれば、これ以外のものというものはどうなのかと思いました。
他の地域の方の意見を聞くことを行うのは、やらないよりはいいのかもしれないが、ちょっとどうなのかなと自分の中でどうしても引っかかるところがあるので、Ｃ評価というよりは、Ｂ評価の中に納まるのではないかと思います。

Ｄ委員
住んでいる人に集中的に意見を聞くほうがいい事業だと思います。Ｃ評価は厳しいと思います。私は①Ｂ②Ａ③Ｂの総評Ｂ＋でした。

副委員長
今の話をお伺いすると、住んでいる方だけの意見でいいのではないかという意見だと思いましたが、私は、駅前まちづくりということであり、そこに収まらないのではないかと思い、Ｃ評価にしました。ここに通われている人や、事業者がどれぐらいここに関われているのか存じていないですが、そういうことも想定される中でアンケート調査だけで終始しているというのはどうなのかなと思いました。
都市計画マスタープランではワークショップをやっている自治体も結構あります。流山市がやっているかは勉強不足で存じ上げませんが、そういうこともあるのではないかと思います。

Ｃ委員
駅前周辺地区をどうするかっていうその指針作りの事業なので、多分これから先、計画が策定されて、その実施に入るなどそういうステップの最初の段階です。
他の事業もそうですが、素案を作る以前の市民参加の方法では、アンケートと意見交換会・説明会が手法としてあって、そこで集まった意見を元に素案を作って、計画素案を作って、審議会とかそういう手法が採用されていくっていう、そういうステップの前段ですので、継続的なものとして理解すれば、計画や条例の変更のよ

うに市民がいかに参加しましたかというものとは違う評価が必要かなと思います。
　そういう意味で、アンケートと意見交換会の選択がこれは駄目よと言われると、他に何があるのですかとなりますので、Ｃ評価というよりは、私もギリギリのＢ評価なのですが、Ｂ評価またはＢ－評価が良いのではないかと思います。

Ａ委員
　指針を作るその目的にもよるかもしれません。

委員長
　土地の動きを作っていく上での話が想定され、そうすると市民から意見を募るといっても限定的にならざるを得ないと、逆にそういうある程度方向性が決まった中でどんなソフト的な物事を盛り込んでいくのか、または幅広く地域の意見を募っていくというのは一般的な進め方ではありますが、地権者にも意見を聞いていることを踏まえると、指針というわりには、こういったプロセスや手法をしているのは、そういった意味を含んでいるのかもしれません。

Ａ委員
　指針を作るという時点で、税金が投入されていることには変わりませんが、再開発であれば、さらなる税金が投入されることになるので、市民全体に意見を聞くのはありかと思います。ただ、今の段階では、注視していく段階化と思います。

委員長
　今出た意見はすべてコメントに盛り込まれていますので、評価としては、このまま変更なしでよろしいか。

≪異議なし≫

総括コメントについて

Ｃ委員
　コメントの２つ目が自分です。
　その事業のフェーズによって、選べる方法は限られていて、段階的に選ばれる手段があると思いました。だから、評価するときに、事業はどういうベースにあるものをこの年度で議論したかっていうのを考えると、どういう評価になるかはおのずと決まってくるので、それを念頭にしてもらえたらと思います。
　市民参加の方法は、素案作成段階ではアンケートや審議会が選択され、素案～最終案の段階ではパブリックコメント、説明会、公聴会などが選択されます。上位計画(国、県)がある場合や、中長期計画の見直しなどの事業は、素案作成フェーズでの市民参加機会が低く、素案作成後のパブリックコメントでは、①反対が多い⇒素案に問題あり、②質問が多い⇒情報提供に問題あり、③要望が多い⇒素案への期待大、④コメントが少ない⇒市民参加の方法、スケジュール、情報提供のいずれかに問題あり、の傾向があります。
　市民参加に諮るべきではないような事業を今後どのように評価していくのか、もしくはどういう風に導いていくのかを、議論して答申などに反映していくべきだと

思います。
　結果ありきのものを市民に諮る場合のフォローの仕方を考えたいです。
　パブリックコメントに対して丁寧に回答し、将来方針を記載するべきなど書いてはどうかと感じました。

Ｄ委員
　市民の責任もあると思います。色々なケースを通して、少しでも市民の皆さんの意見を吸い上げられるようなシステムを考えていただければと思います。

委員長
　市民参加の手法について、今内規に書かれていないものでもどのようなものがあるのか、またある場合にどのように運用していくことが期待されているかということも少し検討すると、担当課からするとこういう時はこういう手法を使うといいのだなとイメージが膨らむと思いますので、そのあたりは掘り下げていけたらと思います。

Ａ委員
　もし、一つ付け加えるならば、「市民＝住民」とは限らないということを謳ってもいいと思います。働いている方や通勤している方、事業者も市民なので、そういう意識で市民参加していただけたらと思います、と付け加えたらいいと思います。

委員長
　もちろん行政サイドもそうですけれども、市民の側も住民目線で考えるっていうのが、１番イメージがわきやすいでしょうけれども、例えば働く方も市民等ですので、そういった立場の方からも市民参加を積極的にしてもらえるように訴えることをこの審議会の立場で出すことは然るべきだと思います。
　また、パブリックコメントを採用したというだけではなくて、どういう風に運用したかという深堀をしていくことやパブリックコメントの後に審議会等で原案を修正する検討するというふうなプロセスを拡充することなど、形式的になりがちなプロセスをどうしたらプラスにしていけるかの周知といったことも担当課に対して理解を深めていきたいと思います。

　以上、令和５年度終了事業の評価についての審議は終わりにします。
　なお、本日訂正・ご意見のあった評価シートについては、事務局で訂正し、後日各委員にメールで配布します。
　次に「議題（２）答申に向けたヒアリング実施について」、「議題（３）その他」について事務局の説明をお願いします。

事務局
　令和５年度終了事業の評価について、ご審議いただきありがとうございました。
　議題（２）「答申に向けたヒアリング実施について」ご説明いたします。
　次回以降の委員会の中で市民参加の運用の改善のための答申の内容について、協議していくこととなります。
　答申の内容を協議するにあたり、答申に向けて市民参加実施担当課に対してヒア

リングしたい希望があった場合、ヒアリングを実施しています。
　ヒアリングの方法については、昨年度と同様に各委員からメールにて質問表をご提出いただき、事務局とりまとめの上、担当課から書面による回答をさせていただきます。
　参考として、令和３年度の委員会ではヒアリング無し、令和４年度、昨年度の委員会ではヒアリングを実施しております。
　答申に向けての質問表の提出は任意となりますが委員会終了後に、質問表のデータを送付いたしますので、質問のある場合はご提出ください。質問表の提出期限は１０月２５日（金）までとなりますのでよろしくお願いいたします。
　また、１０月２５日（金）までに質問がなくヒアリング無しとなった場合は、その旨をメールにてお知らせいたします。
　事務局からは以上になります。

委員長
　今の説明に関して質問のある方はいらっしゃいますか。

≪質問なし≫

委員長
　それでは、議題（２）は以上となります。
　議題（３）その他について事務局から説明をお願いします。

事務局
　議題（３）その他について説明いたします。
　次回の会議の日程については、１２月２５日（水）第２庁舎３階３０６会議室で午前１０時から予定しています。
　事務局からは以上になります。

委員長
　以上で、本日の議題は終了しました。お疲れ様でした。

≪　閉会　０時４０分　≫